

平成26年度

丹沢大山ボランティアネットワーク
活動報告書

目 次

丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

- 1 水質調査
- 2 丹沢大山登山環境意識調査
- 3 生き物調査と外来種駆除
- 4 西丹沢フィールド学習会

会員団体活動掲示板

神奈川県勤労者山岳連盟
横浜わらび山の会
神奈川県山岳連盟
NPO法人神奈川県自然保護協会
神ノ川ヒュッテ管理委員会
NPO法人北丹沢山岳センター
山綾会
森友
NPO法人丹沢森の仲間たち
丹沢けものみちネットワーク
NPO法人丹沢自然保護協会
丹沢ブナ党
丹沢野生動物研究会
西丹沢の自然にふれあう会
蛭ヶ岳山荘委員会
NPO法人みろく山の会
NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部
かながわ野生動物サポートネットワーク
町田グlaus山の会
NPO法人神奈川ウォーター・ネットワーク
NPO法人丹沢自然学校
NPO法人野生動物救護の会
NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク
湘南自然観察クラブ
伊勢原の自然と環境を守る会

世話人会の活動報告

事業報告

神奈川県勤労者山岳連盟の水質調査

大用 コキ子

神奈川県勤労者山岳連盟の水質調査はクリーンハイクの関連行事として、毎年クリーンハイクの前日に実施され20年以上になります。川崎ハイキングクラブもこの尾根コースを10年以上担当していましたが、ここ3年間は他の会が担当してくれていましたので、久しぶりの水質調査山行となりました。

採水箇所は3か所（後沢乗腰、塔ノ岳の水場、大倉高原山の家）です。昔からのコースで、特に変わったことはないのですが、今までと違うのは、今回は丹沢大山ボランティアネットワークも行っている水質調査箇所とだぶった事から話し合いの結果、4箇所を労山が受け持つことになりました。

私自身、たいしたことではないと思っていましたが、いつもの採水ボトル以外に一か所毎に10位のボトル2本が加わりました。労山では大腸菌の有無を調査していますが、ボラネットではそれ以外にも10項目位の調査をしていますので、水量が多くなるのでしょうか？

採水量は満タンにしますので、4名で合計9本の重いボトルを持ちながらの長い尾根歩きと、なりました。

塔ノ岳の水場は、依然荒れていて歩きにくかったのですが、一部が木段になっていて整備されて歩きやすくなっていました。ここでも、丹沢で登山道整備が少しずつ進んでいるのを感じました。

この日は夏を思わせる位の暑さでしたが、登山者が多く中高年はもちろんですが、家族ずれや若い男女も多く、全国で丹沢が一番多い登山者が入るというのも納得です。これではオーバーユースになるのも無理ないですね、これだけの登山者が入ると、今日の水質結果は陽性が出るかもしれないと、頭によぎりましたが、登山道中の小屋々のトイレはバイオに改善されていたので、どうだろうか？いずれにしても結果待ちです。

塔ノ岳の水場採水道中で、登山者に「この水は飲めますか」と聞かれました。大丈夫ですと自信を持って言いたかったのですが・・・・。

いつの日か我が丹沢領域の水は安心で安全ですと胸を張って言えるようになる事を信じて活動の意義と継続の大切さを思い知らされました。

5月の丹沢は、目に優しい芽吹き色の木々、満開のみつ葉つつじのピンク、疲れも忘れて癒されます。気にしていたヒルにも合わず気持ちの良い山行となりました。

私のザックに入りきらなかった採水ボトルを家に置き忘れ、引き返した事で朝の出発時間が30分、遅れてしまうアクシデントがありましたが、大倉にはタイムリミットPM4時に着く事が出来ました。

参加者の皆様有難うございました。これに懲りず来年もよろしくお願ひします。

コース（後沢乗越水場～塔ノ岳水場～大倉高原山の家水場）

参加者4名（大用 SL 関口 CL 守口 関ヒ）

平成26年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	一般細菌		大腸菌		亜硝酸態窒素		硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		塩化物イオン		有機物		pH値	味	臭気	色度		濁度		水場周辺の状況			気象の状況	
		CFU/ml	100CFU/ml以下	検出されたいこと	検出されたいこと	ng/l	0.04mg/l以下	10mg/l以下	mg/l	200mg/l以下	3mg/l以下	mg/l	5度以下				2度以下	ゴミ散乱	野外排泄	トイレ	水場設備	天候当日	天候前日	気温	水温
1 半原越付近	5月7日	7	不検出	0.004未満	0.9	2.2	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	曇り	17	14						
2 日向林道起点水場	5月9日	5	不検出	0.004未満	1	2.1	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	22	13						
3 護摩屋敷跡	5月19日	0	不検出	0.004未満	0.9	1.5	0.3未満	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり	取水口	晴れ	晴れ	19	13						
4 堂平沢	5月19日	35	検出	0.004未満	0.2	1.2	0.6	7.6	正常	3	1	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	16	12						
5 原小屋平水場	5月18日	0	不検出	0.004未満	0.4	0.8	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	12	9						
6 黍殻山遊離小屋	5月11日	1	不検出	0.004未満	0.7	1.1	0.3未満	7.4	正常	1未満	0.5未満	あり	あり	なし	なし	晴れ	晴れ	14	10						
8 春瀬湧水	5月14日	0	不検出	0.004未満	0.9	2.1	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	曇り	15	13						
9 葛葉の泉	5月7日	11	検出	0.004未満	1	2.2	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	19	15						
10 竜神の泉	5月7日	0	不検出	0.004未満	0.8	2.4	0.3未満	8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	24	14.5						
11 後沢乗越水場	5月24日	31	不検出	0.004未満	0.7	1.9	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	雨	晴れ	21	11						
12 二俣の水場	5月24日	26	検出	0.004未満	0.7	1.9	0.4	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	21	13						
13 大倉高原山の家水場	5月24日	38	検出	0.004未満	0.9	2.4	1	7.5	正常	4	0.5未満	なし	なし	あり	取水口	晴れ	晴れ	20	15						
14 塔ノ岳水場	5月24日	2	不検出	0.004未満	0.1	1.5	0.2	7.3	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	17	8						
15 皆瀬川入道	5月17日	56	不検出	0.004未満	0.8	3.2	0.4	7.9	正常	3	0.5未満	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	22.9	15.1						
16 西丹沢農民の森	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.8	1.3	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり	取水口	曇り	晴れ	18	14						
17 仲ノ沢法面湧水	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.8	1.4	0.3未満	8.1	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	曇り	晴れ	22	13						
18 用木沢出合	5月9日	80	不検出	0.004未満	0.4	1.3	0.5	7.5	正常	1未満	0.5未満	あり	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	17.3	12.1						
19 一軒屋遊離小屋前水場	5月9日	15	検出	0.004未満	0.3	1.1	0.5	7.5	正常	1未満	0.5未満	あり	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	16	12						
20 犬越路ずい道水場	5月9日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	1.2	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	18	12						
21 犬越路 日陰沢	5月9日	1	不検出	0.004未満	0.5	1.1	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	20	12						
22 エビラ沢出合	5月9日	0	不検出	0.004未満	0.4	1.4	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	20	12						

大腸菌が検出されたため、味の検査は不可

丹沢大山登山者環境意識調査 実施報告(速報)

調査期間 平成26年6月20日～11月30日

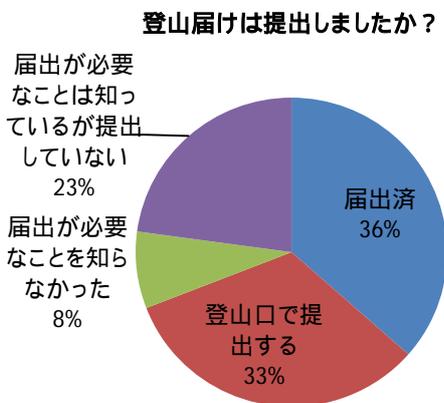
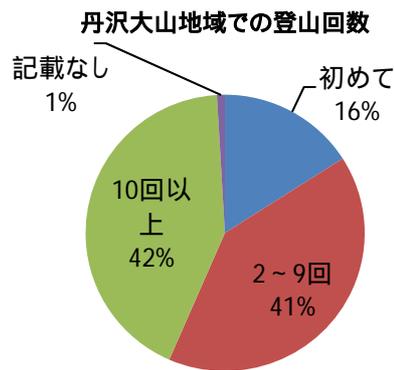
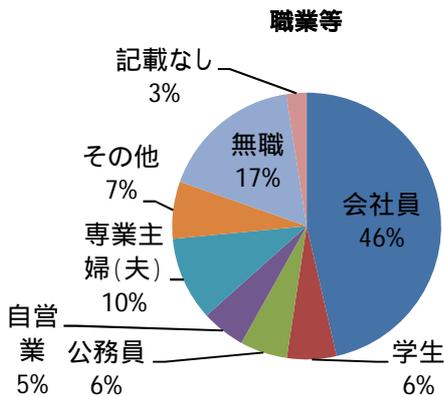
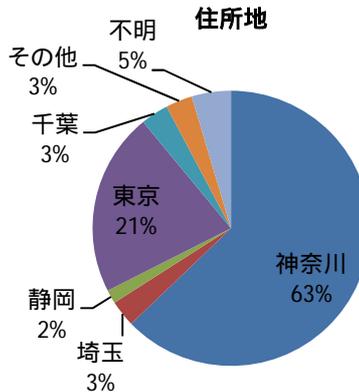
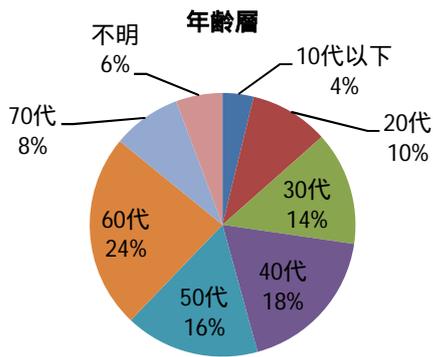
調査方法 NPO法人みろく山の会、NPO法人丹沢自然学校、NPO法人四十八瀬川自然村の協力により、大倉、西丹沢、大山登山口付近で調査票を配布。
 秦野・宮ヶ瀬・丹沢湖の各ビジターセンター、西丹沢自然教室、大山観光案内所、ヤビツ峠売店、鍋割山荘、尊仏山荘、みやま山荘、蛭ヶ岳山荘へアンケートと回収箱を置かせていただいた。

回答数 739枚

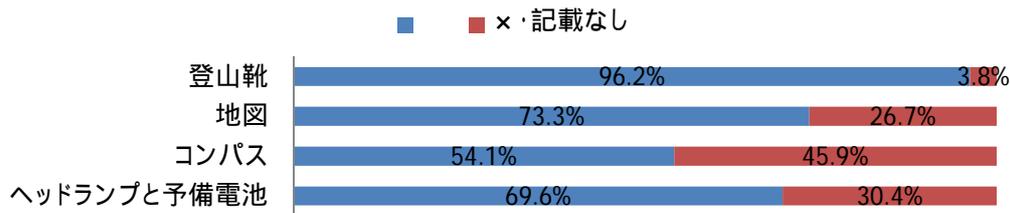
回答者情報 男性60.6%、女性37.8%



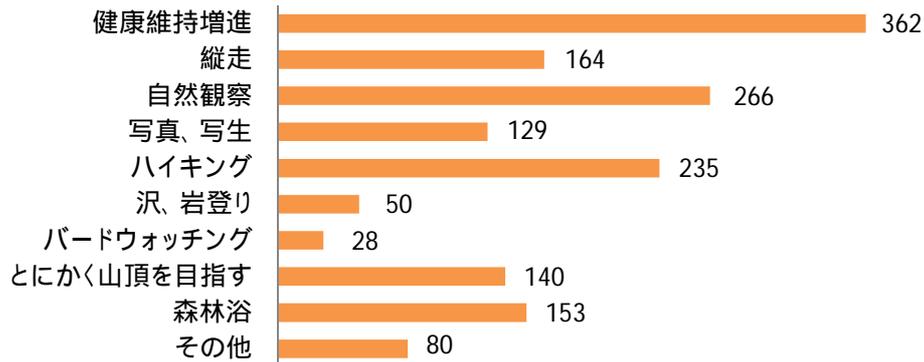
湘南自然観察クラブ 田中さん、かながわフィールドスタッフクラブ 樋田さん製作 アンケート回収箱



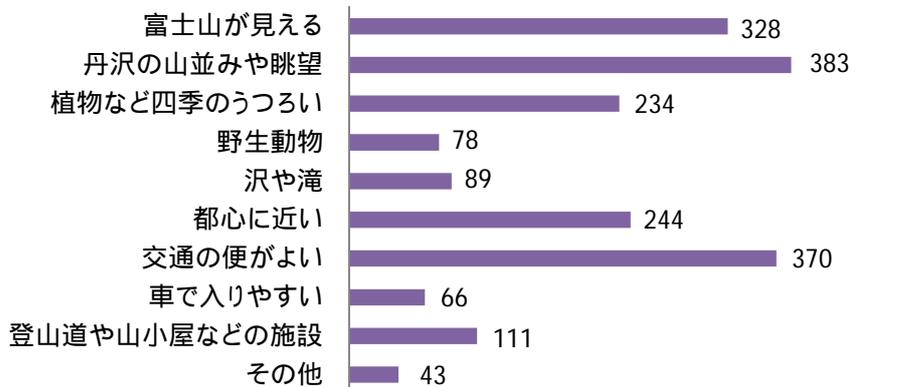
登山の準備、装備は万全ですか？



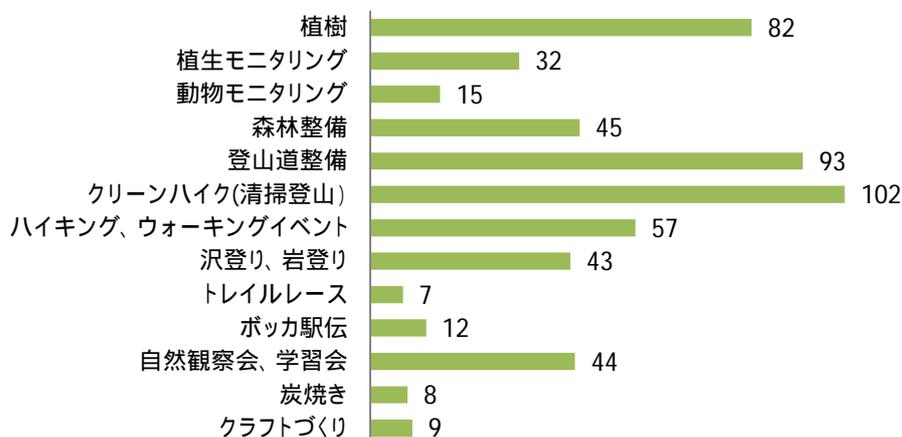
登山の目的は何ですか？ (複数回答)



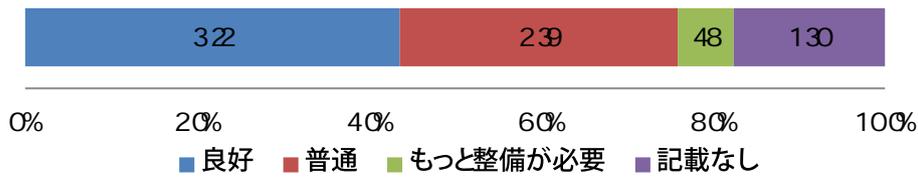
丹沢大山の魅力は？ (複数回答)



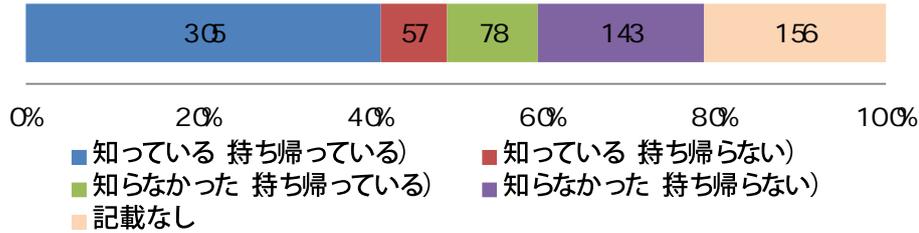
丹沢大山地域で参加したことがあるものは？ (複数回答)



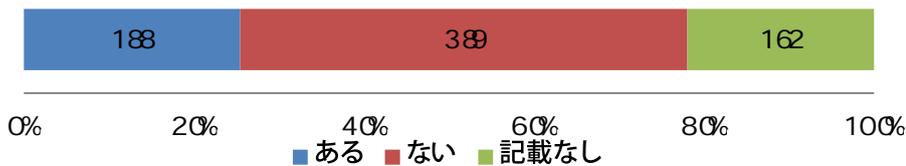
登山道の整備状況は？



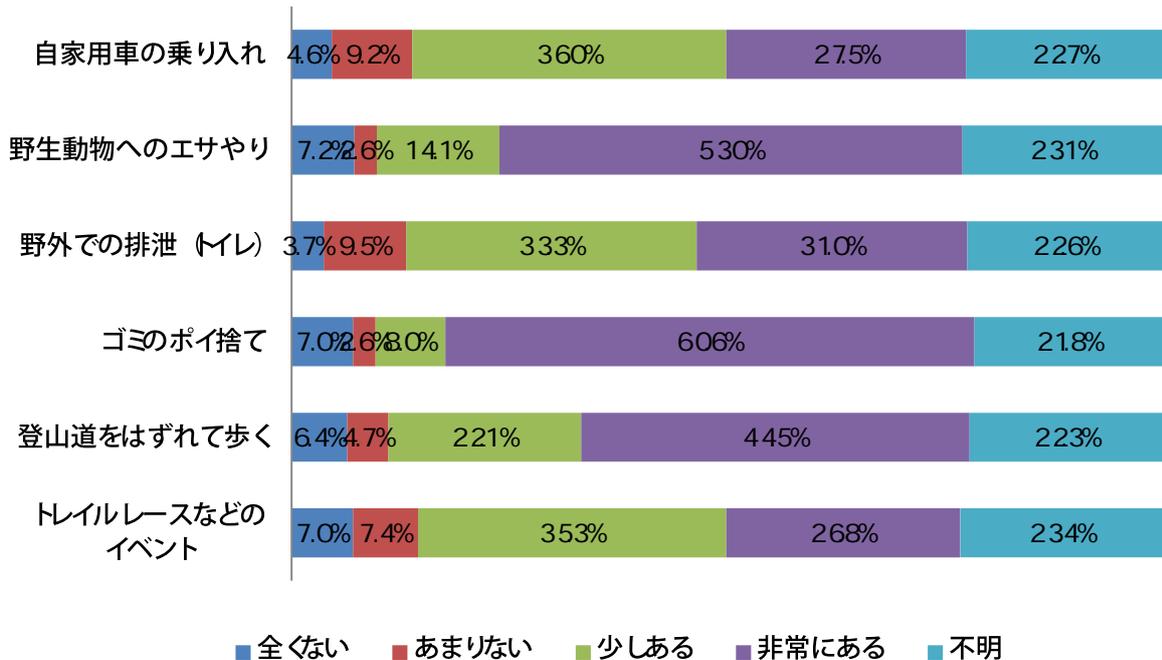
丹沢大山では使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？



丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？



自然環境への影響はどの程度だと思いますか？



採れるは採れる、アメリカザリガニが！！&出てくる出てくる、いろんな生き物も！！ 生き物調査と外来種駆除

2014年10月18日(土曜日)県立自然環境保全センターでの出来事。今年度から、丹沢大山ボランティアネットワークの行事として、年1回、10月に設定されたこの行事は、KWN(神奈川県ウオーター・ネットワーク)と自然環境保全センターが担当しました。当日は天候に恵まれ、秋ののどかな一日を池1のカイボリ(「掻(か)い掘り」と書き、元は農業用水のため池の水を農閑期の冬場に抜き、堆積(たいせき)したヘドロや土砂を取り除くためのものだった。水質改善や外来生物の駆除を目的としたかいぼりは各地で行われており、今年1月から3月にかけて、東京都立井の頭公園(三鷹市、武蔵野市)の井の頭池でも実施されている。)で過ごしました。



調査前の池1の様子

参加者は23名でした。回を重ねるごとに参加者が増えてきています。講師2名、丹沢大山ボランティアネットワーク会員(KWN、西丹沢の自然にふれあう会、四十八瀬川自然村、丹沢自然学校、みらく山の会)が10名、その他に学習やお手伝いとして、県下NPO団体他(ザリガニマスターズ、酒匂川水系の環境を考える会、座間のホテルを守る会、愛川町郷土資料館、愛川自然観察会など)が7名、自然環境保全センター職員4名で実施しました。

開会式(9:00~9:30)

- ・世話人代表の挨拶：KWN・住倉
- ・自然環境保全センター代表の挨拶：自然保護課・川村
- ・講師紹介：勝呂尚之氏・県環境農政局水・緑部 水産課
井塚 隆氏・県水産技術センター内水面試験場 主任研究員
- ・勝呂氏より：「池の生き物の在来種と外来種とのかかわりや外来種駆除の意義や方法について」の話
- ・参加者自己紹介

池のかいぼりと採集生物のソーティング(9:30~12:30)

*午前の最後に、採集した魚類とエビ類は講師の勝呂先生から、水生昆虫類はKWNの諏訪部さんから丁寧な説明がありました。専門家のお話って、聞いていて楽しいしためになりますね。ありがとうございました。



昼食（お弁当と味噌汁、稚ザリガニの素揚げとゆでザリガニ）（12：30～13：00）

味噌汁の具には、今年も四十八瀬川自然村の小野さんから差し入れがありおいしくいただきました。今年も稚ザリの素揚げはおいしく、さらに、ゆでたものは、クレージーソルト・サルサソースなど工夫を凝らして提供してくれました。最初は？と思っていましたが、一度食べてみると2年前の思いはすっとんでいました。（当然のこと、筆者は稚ザリの素揚げが大好きです。）

採集生物の計測（残ってお手伝いして下さる方をお願いしました。）（13：00～14：30）

15名が3グループに分かれて、体長と体重を計測し、採集尾数を数えました。（お疲れ様でした。）



⑤閉会式：二人の講師からの講評

外来種の駆除は、やってもやっても完全に撲滅できないので、意味がないと勘違いされている人も多いようです。しかし、その数を減らすことで在来種への悪影響が低減でき、完全駆除ができなくても確実に効果はあります。また、安定した生態系を構築するためには、外来種駆除だけでなく在来種の復元も平行して実施する方がベターです。在来の水草を導入したり、タナゴ類やドジョウ類、アブラハヤなどの魚類を放流したりして、安定した生態系を取り戻せば、外来種もそうやすやすとは増えることができ安定した生態系を取りなくなります。

「外来種を簡単に駆除する」という魔法は使えないので、地道な駆除を継続することが重要です。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（講師： 県環境農政局水・緑部 水産課 勝呂氏）





本日はご苦勞様です。各界のプロフェッショナルが集まったので、やはり手際が良く、作業が確実なのは流石でした。外来種駆除は容易ではありません。ボタンひとつ押せば、たちまち駆除されてしまうような夢のシステムを目指すのも大切ですが、やはり今日のような着実な取組みが第一だと思います。試験場では県内湖でバス類の駆除研究を10年以上やってきました。個体数推定をすると当初は数千尾だったのが、今ではかなり減少しています。年月はかかりますが、諦めずに継続することが大事です。皆さんの益々の活躍を期待します。

(講師：県水産技術センター内水面試験場 主任研究員・井塚氏)

調査結果

年度(2011.10.29)		年度(2012.11.10)		年度(2013):実施せず		年度(2014.10.18)	
対象エリア:池2		対象エリア:池2と非公開エリア		対象エリア:池1		対象エリア:池1	
テーマ:ボランティアによる生態調査と外来種駆除活動体験		テーマ:源流を訪ねてーセンター非公開エリア探検&池の外来種駆除		テーマ:池1の生き物調査と外来種駆除		テーマ:池1の生き物調査と外来種駆除	
採集生物	個体数	採集生物	個体数	採集生物	個体数	採集生物	個体数
1 モツゴ	500	1 モツゴ	1126	1 モツゴ		1 モツゴ	1094
2 ブルーギル	34	2 ブルーギル	288	2 ブルーギル		2 ブルーギル	142
3 トウヨシノボリ	9	3 トウヨシノボリ	65	3 トウヨシノボリ		3 トウヨシノボリ	107
4 タモロコ	1	4 タモロコ	11	4 タモロコ		4 タモロコ	13
5 ホトケドジョウ	0	5 ホトケドジョウ	11	5 ホトケドジョウ		5 ホトケドジョウ	0
6 ミナミメダカ	50	6 ミナミメダカ	17	6 ミナミメダカ		6 ミナミメダカ	216
7 ギンブナ	50	7 ギンブナ	5	7 ギンブナ		7 ギンブナ	22
8 コイ	4	8 コイ	2	8 コイ		8 コイ	1
9 アブラハヤ	0	9 アブラハヤ	0	9 アブラハヤ		9 アブラハヤ	2
10 ドジョウ	0	10 ドジョウ	0	10 ドジョウ		10 ドジョウ	1
11 ヌカエビ	多数	11 ヌカエビ	270	11 ヌカエビ		11 ヌカエビ	78
12 アメリカザリガニ	500	12 アメリカザリガニ	242	12 アメリカザリガニ		12 アメリカザリガニ	1164
13 ミズカマキリ	記載なし	13 ミズカマキリ	7	13 ミズカマキリ		13 ミズカマキリ	0
14 マツモムシ	記載なし	14 マツモムシ	5	14 マツモムシ		14 マツモムシ	3
15 シオカラトンボ	記載なし	15 シオカラトンボ	1	15 シオカラトンボ		15 シオカラトンボ	2
16 コシアキトンボ	記載なし	16 コシアキトンボ	1	16 コシアキトンボ		16 コシアキトンボ	3
17 オニヤンマ	記載なし	17 オニヤンマ	記載なし	17 オニヤンマ		17 オニヤンマ	1
18 ミルンヤンマ	記載なし	18 ミルンヤンマ	記載なし	18 ミルンヤンマ		18 ミルンヤンマ	3
19 カワニナ	記載なし	19 カワニナ	記載なし	19 カワニナ		19 カワニナ	92
20 ヒメタニシ	記載なし	20 ヒメタニシ	記載なし	20 ヒメタニシ		20 ヒメタニシ	36
21 カメ	記載なし	21 カメ	記載なし	21 カメ		21 カメ	0
22 その他の生物:記載なし		22 その他の生物:記載なし		22 その他の生物		22 その他の生物:アメンボ、シマアメンボ、ユスリカ科、センブリ属、マルガムシ、コミズムシ属、チビズムシ属	

参加者の感想・講評など

厚く堆積したヘドロと格闘しながらの捕獲作業、お疲れ様でした。自然観察園の自然を台無しにしている「にっくきアメリカザリガニ」が、1,000匹以上も捕獲できたのは、本当に驚きです。この夏も既に3,000匹以上捕獲しているというのに！

豊かな水生植物で被われていた昔の池を取り戻すまで、まだまだ道のりは長いようですが、いろいろな試みをしつつ、がんばるぞー！！

(自然環境保全C・川村)

「池1」の外来種駆除数はアメリカザリガニ 1,164 匹、ブルーギル 142 匹、最後のコイ(50cm)1 匹を駆除しました。今回もコイの稚魚はいませんでした。保全センター野外施設で、今年もザリガニバスターズ(アメリカザリガニ駆除団体)が一般参加者と 3,000 匹程の駆除活動をおこないました。アメリカザリガニの駆除はなかなか完全な駆除が出来ない状況で継続駆除が必要とのこと。ブルーギルは、相変わらずいました。水生昆虫等は少なくなったようで、来年も継続して上流池の外来種駆除を行なう予定です。外来種駆除の継続が必要と実感した。

(みろく山の会・久松)

カイボリとは聞き慣れない言葉です。調べてみると「掻い掘り」と書き、池や農業用水沼などの水をくみ出して泥をさらい、魚などの生物を獲り、池底を天日に干すことだそうです。最近では、水を干し、外来種などを駆除することなどもカイボリと言っています。今回で2回目の経験をさせて頂きました。私は記録を担当しました。水性生物の分類と個体数調べと大きさの測定です。初めて担当し勉強になりました。体長の測定は、頭から尻尾の先まで計るのかと思っていたら、違いました。頭から背骨が無くなる所まで測りました。見た目ほうが大きいです。ザリガニが多いことに驚きました。これだけの多いザリガニが、生きていくためには犠牲になる在来種や、水生植物がどれほど多いことや。池の環境や生物相にも大きな影響を与えていると思われ。ブルーギルも多かったです。個体数はメダカより少ないが体が大きく、どう猛なだけに影響力は有りそうです。指導者の先生の次のような話がためになりました。外来種駆除は、「捕っても捕っても、生き残り絶滅させることが出来ない。」ので無力感に襲われ「外来種駆除は意味ない。」と思いがちだが、「駆除しただけ在来種の環境が良くなり、その分だけその間増えている。」と話されました。有難う御座いました。

(丹沢自然学校・小林)

<終わりに>

皆さんの協力で、池1の「かいぼり」が無事終わりました。アメリカザリガニ・ブルーギルの異常の多さにびっくりさせられました。それと、ホッとしたと同時に来年のことを考えました。この観察園には池が5つあり、上流から池5~池1となっています。最上部に位置する池5は、「かいぼり」は一度も実施されていません。水深が最大 95cmで、泥が 80cm程溜まり、大草が観察園の池の中で面積です。また、何が生息しているのかもわかっていないようです。それに、山からの搾り水が3か所から流れ込んでいます。かいぼりするには、非常に労力がある池のようです。池5の排水が流れ落ちる先には池4があり貴重な植物が保護されています。大変そうな池ですが、チャレンジする意義は大きいと思われ。お二人の講師が口をそろえて継続は力なりとおっしゃっていました。どの池を選ぶかは悩むところですが、実施していない池を対象にするのが当然だと思いました。溜まっている泥をどう排水したらよいか、今回よりも多くの会員を集めなければなどと、思いは既に来年度のかいぼりをイメージしていました。・・・みなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。

(世話人・KWN 住倉)

西丹沢フィールド学習会

報告者 丹沢自然学校 小林 昭五

2014年11月8日(土) 丹沢大山ボランティアネットワーク会員の交流会も兼ねて西丹沢フィールド学習会が行われました。

西丹沢をベースにエコツアーリズム活動を展開している丹沢自然学校が役割を担当しました。丹沢自然学校は佐藤休三さんを中心に四人のスタッフで何度も下見学習をし、計画を立てました。



当日の計画	小田急新松田集合	そこからマイクロバスで犬越路へ向かいました。
8:50	新松田駅南口集合	12:00 犬越路トンネル
9:00	出発 バスで移動	12:50 昼食 豚汁 交流会
9:40	西丹教室トイレ休憩	14:00 水生生物調査
10:00	林道ゲート	15:30 ゲート着 バス移動
10:10	アイスブレイク後開始	16:30 新松田駅南口着 解散

最初に西丹沢フィールド学習会が13名の参加者で事故もなく無事終了しました事を報告させていただきます。

西丹沢・犬越路周辺のガイド付き自然観察会です。西丹沢の美しい紅葉を楽しみ、ボラネット会員の交流を深めました。

植物観察 紅葉 黄葉等 水生生物の観察最も良い時期でした。山頂付近では見頃を過ぎていました。山頂からの山腹に向かい紅葉の推移が観察理解できました。

ウリハダカエデ イロハモミジ、ホソエカエデ、ウリカエデ、その他植物リンドウ、リュウノウギク 小鳥止まらず ホソエノアザミなど観察できました。ミツマタはすでに来年の花芽をつけていました。

犬越路トンネル入り口付近で丹沢の生い立ち、岩石について学びました。



緑、白、黒の岩石集め、佐藤講師より 丹沢、岩石の説明 日中でも真っ暗な犬越路トンネルを抜けると、そこは秋の山谷だった・・・ 雄大な風景が見られます！！

犬越路トンネル(海拔1060m長さ約800m)にはコウモリが住んでいると思ったが残念！ 立派すぎ、風が入り、住処、止まり木などなし！

中は真っ暗闇 夏夏でもひんやり 時々強い風が通り抜ける、湧水、噴水良い体験になりました。一人では恐ろしくて通れないな！ 通り抜け北側の風景を眺められる。皆で地図を広げ登山のための、地図の見方、コンパスの使い方の学習をする。役に立った。



左写真
地図、コンパスを学ぶ

右写真
水生生物の学習

交流会

トンネル入り口休憩所で行いました。休憩所には、広場、東屋、ベンチがあったが今は広場だけです。湧水が有り、風景も良く、学習材料が多く有るので、エコツアーには最適の場所です。豚汁を作り交流を深めました。沢山歩いて疲れてるので、美味しかったです。



上写真ハコネサンショウウオ

下山は途中で沢に下り、水生生物の観察を行いました。講師は神奈川ウォーターネットの諏訪部さんです。諏訪部さんは以前、綾瀬市教委教育研究所の研究委員をされていました。いろいろな種類の水生生物が採集されました。諏訪部さんから解説を受けました。特にプラナリアなど珍しかったです。中でもハコネサンショウウオは初めて捕まえ、初めて見ました。感激です。子供の頃、トウキョウサンショウウオを捕まえ遊んでいた頃を思い出しました。ハコネサンショウウオは神奈川県レッドデータ生物に入っています。種の同定は難しく出来ないが、普段目にする事の少ない、底生生物を捕まえたことだけでも勉強になりました。

学習会をまとめてみると

- 1 オオバコの花茎を使った強さ比べ、クズやオオバアサガラの葉を使った音だし、などの遊びゲーム
- 2 紅葉などの葉の分類名や生理生態学的な解説
- 3 秋の花の観察（イワシャジン、リュウノウギク、キッコウハグマなど）
- 4 丹沢山地の成り立ちと岩石の話。（白い石、緑の石、黒い硬い石など 岩石集め、並べ分類、分布の考察）
- 5 トンネルの湧水について
- 6 地図の見方やコンパスの使い方の学習
- 7 水生昆虫や両生類の分類と同定

以上の盛りだくさん内容の学習や交流を行いました。また、昼食は豚汁をつくりました。

反省

西丹沢フィールド学習会交流会は、大変に内容のある学習会、交流会だった。ただ参加者が少なかったことが残念である。次は工夫をして大勢の参加者を集めて、盛大に行いたい。協力して頂いた皆様、有難う御座います。



意外と動きが速い ヤマミミズ

會員団体活動揭示板

団体名称	神奈川県勤労者山岳連盟
設立目的	<p>国民の登山要求の高まりの中で登山界の大衆化と遭難の一扫という斬新な主張を掲げて、1968年に結成。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共存共生や遭難事故防止の課題を伴っていると言えるが、我々は自らの登山技術や知識を高めると共に登山活動の知識の一層の充実と発展を目標とする。</p> <p>【設立年月日】1968年</p>
団体情報	<p>【代表者】渡辺 三男</p> <p>【会員数】620名</p> <p>【ホームページ】http://www.k-rouzan.net/</p>
活動内容	<p>1 第37回「2014年 丹沢クリーンハイク」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年5月25日(日) ・場所 表丹沢 ・参加者 337名(前日の水質調査、前夜祭も含む) ・ゴミ回収 180kg <p>1月より実行委員会を立ち上げ、6回の実行委員会を開催しました。昨年に引き続き、二ノ塔と大倉尾根の登山道整備に力点を置き、実施しました。天気に恵まれ、事故もなく無事終了しました。</p> <p>2 「水質調査」の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年5月24日(土) ・場所 水無川本谷、塔ノ岳水場 等 17か所 ・参加者 14名(6会) <p>今年から、丹沢大山ボランティアネットワーク(ボラネット)の水質調査に協力し、一部重複している調査地点を労山で担当しました。</p> <p>3 第4回東日本震災ボランティアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 9月13日~15日 ・1日目被災地視察・・南三陸町、南三陸町防災センター、大川小学校、女川町立病院 等 夜、地元の方との交流会 ・2日目ボランティア活動・・水沼山山頂付近の草刈、ツツジに絡まった蕨等の除去 ・3日目ボランティア活動・・石巻市街の日和田山から市内の見学、その後門脇地区の花壇の手入れ <p>復興の道のりは遠いが、今後も復興を見守っていきたい。</p> <p>4 第17回全国登山者自然保護集会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月11日~12日 ・静岡県島田市 1名参加 ・テーマ 「南アルプスの大自然を貫くりニア中央新幹線を考えよう」 <p>工事に伴う生態系に与える影響等について協議。</p>

5 関東ブロック自然保護集会

- ・11月15日(土)～16日(日) 上郷「森の家」
- ・今回は神奈川県連が主管し、都市近郊の自然を考える。
観察会、基調講演、各県連からの活動報告、交流会、鎌倉ハイキングと充実した2日間でした。
- ・参加者 宮城県連1名、群馬県連3名、栃木県連2名、東京都連7名、埼玉県連2名
千葉県連1名、神奈川県連39名 計 55名

6 小網代の森(三浦)自然観察会の実施

- ・1月18日(日)13名参加
- ・源流系から河口まで生態系が保たれた自然を観察。ここでも管理するボランティアが不足という課題がある。

7 自然保護委員会実施日程と内容

- (1) 3月31日 クリーンハイク実施に向けた討議 等
- (2) 4月28日 クリーンハイク実施に向けた討議
ボラネットより水質調査参加依頼あり、討議
- (3) 6月3日 クリーンハイク反省会
- (4) 6月30日 クリーンハイク報告書作成、
第4回震災ボランティアの討議、
関東ブロック自然保護担当者会議の討議
- (5) 7月28日 東北震災ボランティア討議、
関東ブロック自然保護集会内容の討議
- (6) 8月25日 震災ボランティア実施の件、討議
- (7) 9月29日 震災ボランティアの活動報告 等
- (8) 10月15日 関東ブロック自然保護集会の役割分担について
- (9) 12月15日 関東ブロック自然保護集会をふりかえって
- (10) 1月26日 第1回クリーンハイク実行委員会
- (11) 2月24日 第2回クリーンハイク実行委員会

連絡先

【担当者】

【住所】〒221-0833 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル 3階

【電話】045-434-2726

【FAX】同上

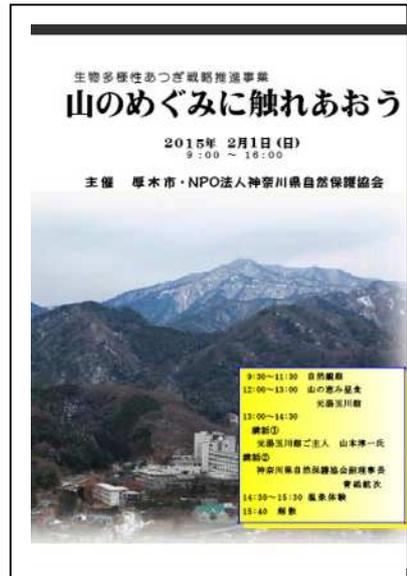
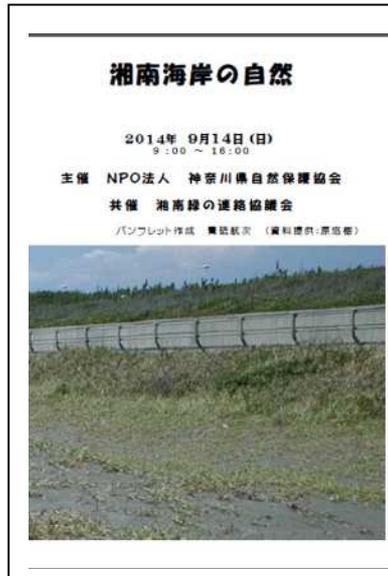
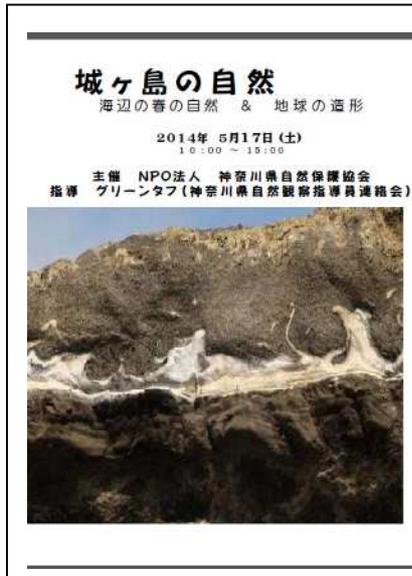
【メール】<http://www.k-rouzan.net/>

団体名称	横浜わらび山の会
設立目的	<p>自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、また清掃登山や障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。</p> <p>【設立年月日】1990年3月</p>
団体情報	<p>【代表者】西本嘉子 総務部（三瓶英雄、小沼千春、長谷川 隆）</p> <p>【会員数】31名（2015年1月1日現在）女性11名 男性20名</p> <p>【ホームページ】http://warabi.la.coocan.jp/</p>
	<p>4月：登山道補修実技研修会 参加、1名 表尾根菩提峠～岳ノ台間</p>  <p>5月：環境登山、緑化推進活動 参加、3名 表尾根二ノ塔 大和武尊足跡分岐エリア</p>  <p>11月：神ノ川流域下草刈り 参加、3名 北丹沢神ノ川、 広河原エリアの下草刈り</p> 
連絡先	<p>【担当者】長谷川 隆</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】</p>

団体名称	神奈川県山岳連盟
設立目的	<p>神奈川県山岳連盟は、登山を指導普及し、その健全な発展を図り、あわせて会員の親睦・交流と、自然愛護の精神を高揚することを目的としている。</p> <p>【設立年月日】1954年4月4日</p>
団体情報	<p>【代表者】岡本 安夫</p> <p>【会員数】 17 協会、80 団体、2200 名</p> <p>【ホームページ】http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/</p>
活動内容	<p>神奈川県山岳連盟は、県下各地の市町村の山岳協会や大学山岳連盟・高等学校体育連盟登山専門部からなる17の団体を統括している。そして、競技登山（スポーツクライミングなど）、卓越登山（エキスペディション）から健康登山（ハイキング、トレッキング）と幅広い登山ジャンルのなか、安全普及（指導者養成・ジュニア養成）、遭難対策（セルフレスキュー、グループレスキュー）、環境保全（山岳自然保護）などの活動を行っている。指導者養成では、公益財団法人日本体育協会の認定するスポーツ指導者の専門教育（山岳部門）を担っているとともに、環境省自然公園指導員や公益社団法人日本山岳協会公認の自然保護指導員の養成を行っており、丹沢山塊を始め国内山岳における指導や普及・啓もう活動にあたっている。競技面では、国体など各種スポーツクライミング大会への運営参画、選手派遣、選手養成などに関わっている。一方、遭難救助講習会・研修会を開催し安全登山の普及啓もうの機会としている。環境保全（山岳自然保護）の活動としては、地元山岳において、クリーン活動のほか、二ノ塔と宮ヶ瀬湖畔のフィールドでは自然再生に向けた植樹や山林整備にここ数年来携わってきた。</p>
連絡先	<p>【担当者】松隈 豊</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】matsumobi@nifty.com</p>

団体名称	NPO 法人神奈川県自然保護協会
設立目的	<p>神奈川県内の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与すること</p> <p>【設立年月日】1965年10月1日、2004年6月1日（NPO法人格取得）</p>
団体情報	<p>【代表者】藤崎英輔</p> <p>【会員数】198（個人・団体）</p> <p>【ホームページ】http://www.eco-kana.org</p>
活動内容	<p>(1) 自然保護に関する普及啓発事業</p> <p>ア シンポジウム・講演会開催事業</p> <p>イ 公開勉強会開催事業</p> <p>ウ 自然観察会</p> <p>城ヶ島の自然(5月)</p> <p>湘南海岸の自然(9月)</p> <p>地形・地質見学会(3月) 鎌倉 津波と縄文海進</p> <p>エ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働</p> <p>自然のめぐみに触れるエコツアー</p> <p>川のめぐみ(8月)</p> <p>里のめぐみ(10月)</p> <p>山のめぐみ(2月)</p> <p>外来種啓発活動</p> <p>アメリカザリガニと遊ぼう</p> <p>市制60周年キックオフイベント「えこまるマーケット」啓発ブース出展・厚木中央公園内エコツアー</p> <p>(2) 広報・刊行事業</p> <p>ア 啓発誌発行事業 1</p> <p>啓発誌「かながわの自然」発行 年1回</p> <p>イ 啓発紙発行事業 2</p> <p>情報紙「ニュースレター」発行 年6回</p> <p>ウ ホームページの運営</p> <p>エ その他アジェンダの日 ブース出展等啓発活動。</p> <p>(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動</p> <p>ア さがみ自然フォーラム開催</p> <p>自然保護団体ポスター展示 ポスターセッションによる交流 講演会</p> <p>イ 他団体等行事の後援</p> <p>(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究</p> <p>・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト</p> <p>(5) 行政への働きかけ・協働</p> <p>神奈川県環境審議会委員派遣 水源環境保全再生県民会議委員 丹沢大山保全再生委員会委員</p> <p>神奈川県生物多様性戦略検討委員 厚木市生物多様性検討委員 ほか。</p>
連絡先	<p>【担当者】青砥航次</p> <p>【住所】厚木市林 5-15-10</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】nacs-kana-office01@eco-kana.org</p>

観察会パンフレットの表紙



行事のようす



外来種啓発事業 アメリカザリガニと遊ぼう
8月
向上高校生物部の皆さんが協力



厚木市えこまるマーケット 10月
Look!! あつぎの自然 ブース出展



さがみ自然フォーラム 12月
ポスターセッション 厚木市文化会館

団体名称	神ノ川ヒュッテ管理委員会
設立目的	<p>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。自然保護活動（広河原植林事業、東海自然歩道監視、整備等）の基地及び山岳スポーツ（トレイルレース）の基地として活動している。</p> <p>【設立年月日】 1993年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】120名</p> <p>【ホームページ】http://kitatan.com/kantop</p>
活動内容	<p>4月 丹沢神の川流域山開き折花姫神社・本祭行事 東海自然歩道・日陰沢新道のゴミの収集活動</p> <p>6月 神の川広河原植林活動・下草刈り・支柱設置</p> <p>7月 北丹沢12H山岳耐久レースの協力・第一関門及び第二関門</p> <p>8月 神の川周辺登山道清掃及び点検活動</p> <p>11月 神の川ウォーク開催・参加者による林道の清掃作業実施 広河原での植林活動（ブナ50本・ミズナラ50本の植樹） 植林地での鹿柵補修</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、鐘撞山を中心とした地域） 神の川ヒュッテ友の会会長 加藤 博恵</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵 1545 - 1</p> <p>【電話】042 - 687 - 4011</p> <p>【FAX】042 - 687 - 3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	N P O 法人北丹沢山岳センター
設立目的	藤野町牧野財産管理会の委託を受け、健全なヒュッテの経営を行う。 山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。 【設立年月日】 2003年 4月 11日
団体情報	【代表者】杉本 憲昭 【会員数】運営委員会40名 10団体600名 【ホームページ】 http://kitatan.com/
活動内容	<p>4月 北丹沢神の川流域山開き・折花姫神社での本祭行事</p> <p>6月 神の川広河原植林活動・下草刈り</p> <p>7月 北丹沢12h山岳耐久レースへの協力</p> <p>8月 神の川周辺登山道の清掃・点検活動</p> <p>10月 陣馬山ウォーク・清掃活動・青根に於ける地域活動</p> <p>11月 陣馬山トレイルレースへの協力 東丹沢トレイルレースへの協力 広河原での植林活動・シカ柵補修</p> <p>12月 東丹沢早戸川水源の森清掃</p> <p>長年の自然保護活動に対し、杉本理事長が環境大臣賞の表彰を受ける 活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、蛭ヶ岳、姫次を中心とした地域） 2012年より陣馬山域に於いても活動を開始</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵 1545 - 1</p> <p>【電話】042 - 687 - 4011</p> <p>【F A X】042 - 687 - 3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	山綾会
設立目的	「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。 【設立年月日】1992年10月1日
団体情報	【代表者】彦坂 弘明 【会員数】102名（2015年1月25日現在） 男性31名、女子71名 【ホームページ】 http://sanryokai1992.wed.fc2.com
活動内容	平成26年度活動は計画にたいして、実施が天候不良その他自然災害など多くの要因で、中止がありましたが、54回の実施ができました。 その中で、例年実施のクリーンピャー活動を11月3日大山清掃又綾瀬市市民の方に安全登山講習と美化運動の啓発を実施いたしました。 例年の市文化展に写真部門で参加と今年も多くの会員の参加をいただき実施できました。 最近の中高年が登山での事故報道をうけて、会では一層の安全登山を目指すべく、啓発を実施いたしました。
連絡先	【担当者】村上 紀央 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】

団体名称	森友（しんゆう）
設立目的	宮ヶ瀬周辺及び県内、県外でさまざまな活動を行うことにより地域の自然や文化、歴史に親しむ事を目的とする。 【設立年月日】1990年12月1日
団体情報	【代表者】 鬼木 光朗 【会員数】 37 家族 【ホームページ】
活動内容	今年度は 横浜大丸山を歩こう（横浜市栄区） 目黒自然教育園を散策（港区） 開成あじさいの里を散策（南足柄市） 江ノ島の海を散策（藤沢市） 名越の切通しを歩こう（鎌倉市） 箱根駒ヶ岳を歩こう（箱根町） 逗子鷹取山を歩こう（逗子市） 相模原貯水池で探鳥会（相模原市） の行事を行い、大勢の会員方々の参加を頂きました。 都会の自然にふれあい、山の動植物、海の自然環境を觀たりとさまざまところで活動しています。 「森友」は自然觀察会を行う事により、より多くの方々に「自然の大切さ」 「自然の素晴らしさ」等を体感してもらえようこれからも觀察会を開催いたします。
連絡先	【担当者】 杉田 和義 【住 所】 神奈川県海老名市国分寺台 5 - 13 - 10 - 3 【電 話】 090 - 9017 - 9072 【F A X】 【メール】 k_sugita@mwd.biglobe.ne.jp

団体名称	NPO 法人丹沢森の仲間たち
設立目的	森林・林業の持続的利用と森林環境の保全活動に関する事業を行い、地球環境の保全に寄与する。 【設立年月日】2006年 1月 16日
団体情報	【代表者】加藤 逸平 【会員数】22 名 【ホームページ】 http://www.erch.or.jp/k-sinrin10/
活動内容	<p>1) 月例研究会の開催 活動拠点を山北町世附に置き、3月～12月の期間で2日/月活動</p> <p>2) 森林整備事業：山北町皆瀬川の景観形成の為に進入篠竹を皆伐</p>   <p>3) 次を担う世代への普及啓発：森林教室での間伐体験</p>   <p>4) 環境保全団体との共同活動・支援活動</p>
連絡先	<p>【担当者】戸谷和男</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】0463-61-6338</p> <p>【FAX】0463-61-6338</p> <p>【メール】totanikf@yahoo.co.jp</p>

団体名称	丹沢けものみちネットワーク
設立目的	ニホンジカを始めとする丹沢の生き物の視点から丹沢の自然環境保全、再生に資するための調査、実践、普及啓発を行う。 【設立年月日】平成8年7月
団体情報	【代表者】 - 【会員数】 約10名 【ホームページ】 -
活動内容	<p>【ニホンジカの生息密度調査】(継続調査)</p> <p>丹沢山地東部に位置する札掛において、1998年以降、毎年2回札掛地区において区画法によりシカの生息密度調査を継続的に行っており、2014年度は、4月7日、12月6日に調査を実施した。</p> <p>【生息動向調査】(継続調査)</p> <p>1998年以降シカの生息密度調査を継続的に行っているが、2007年度以降、札掛地区においても、県によるシカの管理捕獲が実施されており、部分的に林床植物の成長が見られている。</p> <p>しかしながら、当該地域のシカの生息状況の季節変動についての把握は不十分な状況であることから、2013年に自動撮影カメラを設置し、シカの撮影頻度から生息状況の季節変動に関する情報を把握した。</p> <p>(活動状況写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>センサーカメラで撮影されたシカ</p>
連絡先	<p>【担当者】岩岡</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】tad-iwaoka@qq7.so-net.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 丹沢自然保護協会
設立目的	「空に鳥 森に獣 川には魚」のいる豊かな丹沢の自然環境を子供たちに残すために「今、私たちに出来ること」をテーマに保護、保全活動を行う 【設立年月日】1960年設立、2004年NPO法人に改組
団体情報	【代表者】中村 道也 【会員数】500名 【ホームページ】丹沢自然保護協会で検索してください
活動内容	専門的な調査・研究から街中の自然観察まで幅広く行い、自然保護思想の普及・啓発を行う。 【平成26年度の活動結果】 1 緑の再生活動 荒廃地や人為的影響により生じた裸地に広葉樹等の植栽を行い動物たちの生息地が孤立しないよう、緑地帯で生息域を繋ぐ緑のコリドー作りを行う。 25年度は大山・北尾根の植生保護柵の中に植樹した。 春の植樹：実施日 5月24日（土）参加者：約100名 秋の植樹：実施日 10月25日（土）参加者：約50名 2 モニタリング 植栽地の生育過程の調査を行い、植樹の成果・自然回復力の把握を行い、緑の再生事業の成果の向上を目指す。 25年度は三の塔直下ヨモギ尾根の生育状況の調査を行った。 春のモニタリング：実施日 5月31日（日）参加者：9名 3 森林整備体験活動 枝打ち、間伐作業補助及び炭焼き等の体験を通して、森林のあり方・手入れの大切さ・環境保全について学ぶ。 実施日：12月28日（木）実施地：境沢林道 4 丹沢フォーラム 丹沢の抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生事業地を訪ね担当職員あるいは専門講師を招へいする。 春の玄倉林道を歩く：実施日 4月21日（日）参加者：39名 秋の堂平ブナ林を歩く：実施日 11月29日（土）参加者：38名 5 森の学校 子供たちに合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しみながら自然環境を学んでもらう。 夏の学校：実施日 8月12日～15日参加者：20名 冬の学校：実施日 12月28日～29日参加者：28名 春の学校：実施日 3月27日～28日参加者（実施後報告）

- 6 丹沢を歩く
 初心者を対象に鳥・植物・動物の痕跡などの観察をしながら、低山を歩き、自然保護の啓発活動を行う。
- 7 丹沢を描く
 丹沢の低山を自然観察とスケッチを行う。スケッチを楽しみながら今までとは違う目線で自然を見つめなおす。
 実施日：7月6日(日)
- 8 大きな街の小さな観察会
 初夏の自然観察会：実施日6月1日(日)参加者：10名
 秋の自然観察会：実施日11月3日(日)参加者：15名
- 9 関係団体との協働
 ボラネットの水質調査に参加
 ボラネットの西丹沢フィールド学習会に参加
 クリーンピア21の清掃活動に参加



水質調査



秋の植樹の様子

連絡先	【担当者】酒井明子
	【住所】
	【電話】
	【FAX】
	【メール】the_sakais@ybb.ne.jp

団体名称	丹沢ブナ党
設立目的	<p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1990年11月3日</p>
団体情報	<p>【代表者】梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】90名</p> <p>【ホームページ】http://tanzawabunato.web.fc2.com/</p>
活動内容	<p>1. ブナ林健康度調査、方形区調査の実施 前年から引き続きのブナ林健康度調査、方形区調査に取り組みました。</p> <p>2. 秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への積極的な対応 林地開発許可に係る神奈川県森林審議会を傍聴し、保全に向けた実効性有る答申を出させるべく審議会委員長、委員への働きかけを行いました。また、審議会資料の虚偽記載について、県担当部局である水源環境保全課と交渉しました。情報公開によって入手した土地利用調整会議幹事会の議事録にも明確な虚偽が発見されました。こうした情勢下で関係者と何回かの協議を重ね、打開策を模索しつつ行動しました。 一方、中村川源流部の水生生物調査を実施、更には、毎月の渋沢丘陵歩きたいとは別建ての、駐車場予定地調査、オオムラサキ観察会等を開催し、毎日新聞の高橋記者の大キャンペーンにつなげました。</p> <p>3. 里山歩きのほか、自然観察会を開催 里山を歩き、かつての薪炭林を形成していた雑木林が育ち過ぎている状況や、手入れがなされず荒れている里山林を目の当たりにして、ツキノワグマを初めとした野生動物との共生を図る上で、しっかり考えて対策を取る必要を痛感しました。誰でも参加できる自然観察会を開催し、多くの方の参加を得て、珍しい景観や貴重な自然遺産を目にすることができました。</p> <p>4. ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施 昨年は、ブナやクヌギ、コナラ類の不作が伝えられましたが、ネクタイ尾根等、局所的にはドングリや栗が結構実っている所もあり、そうしたところを利用している痕跡を確認することができました。</p> <p>5. 丹沢ブナ党シンポジウムを開催 丹沢に未来はあるか - 丹沢はどうなるのか、そして人間と自然について考える、と題してシンポジウムを開催。小泉武栄東京学芸大名誉教授、長縄今日子丹沢ツキノワグマ研究会代表、齋藤央嗣保全センター主任研究員、齋藤理神奈川昆虫談話会会員らパネリストと、約100名の参加者を得て活発な議論が展開されました。</p>
連絡先	<p>【担当者】梶谷 敏夫</p> <p>【住所】横浜市港北区箕輪町3-3-8</p> <p>【電話】045-563-3953</p> <p>【FAX】045-563-3953</p> <p>【メール】bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	丹沢野生動物研究会
設立目的	丹沢に生息する希少動物の生態や生息状況を調べるため 【設立年月日】1998年4月1日
団体情報	【代表者】山口喜盛 【会員数】8名 【ホームページ】-
活動内容	希少動物の調査及び情報収集を行った。
連絡先	【担当者】山口喜盛
	【住所】
	【電話】
	【FAX】
	【メール】agnomom@clock.ocn.ne.jp

団体名称	西丹沢の自然にふれあう会
設立目的	西丹沢・北丹沢計 6 箇所 <small>の</small> 避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため 【設立年月日】2000 年 6 月 25 日
団体情報	【代表者】齊藤 誠 【会員数】31 名 【ホームページ】-
活動内容	平成 26 年の活動概略 <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の例会を計 11 回実施。内容は 6 箇所<small>の</small>避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など（写真は 11 月例会、石砂山で） <ul style="list-style-type: none"> 参加者延べ約 190 人、回収ゴミ 20 k g 強。 ・他にも会員有志による清掃登山が数回 ・西丹沢山開きに登山者代表として参加 ・ボラネット関連では西丹沢学習会への参加、水質検査採水の分担実施など 
連絡先	【担当者】多田慎一
	【住 所】
	【電 話】
	【 F A X 】
	【メール】ryo9912@hyper.ocn.ne.jp

団体名称	蛭ヶ岳山荘委員会
設立目的	神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。 【設立年月日】 1998年 4月 1日
団体情報	【代表者】杉本 憲昭 【会員数】蛭ヶ岳山荘友の会260名（団体会員含む） 【ホームページ】 http://kitatan.com/hirutop
活動内容	<p>4月 春・夏用の物資荷上げ 北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者への呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力</p> <p>9月 蛭ヶ岳山頂の土砂流失による埋立ゴミ（缶・ビン等）清掃</p> <p>10月 秋・冬用の物資荷上げ</p> <p>11月 登山道整備・シカ柵設置工事の為、地元業者の宿泊地及び連絡事務所として協力</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 太田 顕成</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵 1545 - 1</p> <p>【電話】042 - 687 - 4011</p> <p>【FAX】042 - 687 - 3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	<p>健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立された。</p> <p>登山・ハイキングの計画と実施、登山技術の向上を図る学習、遭難防止への安全教育、情報誌の発行、山岳環境保全・啓発活動の実施などを行っている。</p> <p>特に山岳環境を登山というスポーツの大切なグラウンドと考え、このグラウンドを護るために自ら行動をおこすという基本的な考えを当会の重要な方針としている。</p> <p>【設立年月日】1983年4月設立、2000年3月山岳会として全国で初めてNPO法人として認証された。</p>
団体情報	<p>【代表者】坪井 三枝子</p> <p>【会員数】799名（男性400名、女性399名）平成26年12月1日現在 30代から80代まで幅広い年齢層</p> <p>【ホームページ】http://www.mirokuyamanokai.org/</p>
活動内容	<p>登山・ハイキング</p> <p>登山活動は毎月会山行を40～50回、ハイキングから本格的な登山まで実施。 登山愛好者を対象にしたみろく登山スクールを年2回実施。</p> <p>登山道巡視と補修</p> <p>自然保護活動は、自然環境保全センターとの「県民協働型登山道維持管理補修」に関する「協定」に基づき、月一回大倉尾根で登山道の巡視と軽微な補修活動に加え大倉尾根登山道及び鍋割山頂で登山者数計測を実施した。</p> <p>清掃・登山道整備</p> <p>清掃・登山道整備活動は会設立から33回目となり、11月29日（土）会員及び一般参加者170名で秦野戸川公園周辺と大倉尾根の清掃活動を実施。</p> <p>高校生が取り組む「丹沢やまみち再生体験」の学習への協力は、平成27年1月25日（日）に実施。</p> <p>植生回復</p> <p>大倉尾根周辺で7月17日（木）ポット苗 タイアザミ 1536ポット、山カモジグサ 512ポットをNEXCO中日本と協働で植樹を実施。</p> <p>植樹</p> <p>やどりき水源林で11月15日（土）100本植樹実施（ヤマザクラ・ヤマボウシ・イロハモミジ・コナラ・クヌギ各20本）</p>
連絡先	<p>【担当者】鈴木 茂</p> <p>【住所】川崎市多摩区西生田 4 5 19</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】shigeru33390@abelia.ocn.ne.jp</p>



平成 26 年 11 月 29 日 第 33 回清掃・登山道整備活動



平成 26 年 7 月 17 日 大倉尾根植樹



平成 26 年 11 月 15 日 ヤドリキ水源林植樹



平成 27 年 1 月 25 日 高校生が取り組む！「丹沢やまみち再生体験」

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】2003年7月5日
団体情報	【代表者】馬場国敏 【会員数】約30名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約100名 【ホームページ】 http://www.wrv-kanagawa.jp
活動内容	丹沢大山の自然環境保全にかかる活動は特にはないが、川崎市にある野生動物ボランティアセンターを中心に県内全域で活動しています。 傷病野生動物の救護と野生復帰 傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び認定 なお、認定された野生動物リハビリテーターは、上記の野生動物ボランティアセンター以外に県指定の4救護施設(県自然環境保全センター、横浜市立野毛山・金沢・よこはま動物園)にて活動 次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 救護原因の究明や予防対策のための調査研究
連絡先	【担当者】皆川康雄 【住所】川崎市中原区下新城2-1-28 野生動物ボランティアセンター内 【電話】044-777-8243 【FAX】044-777-8368 【メール】 kanagawa@wrvj.org

団体名称	かながわ野生動物サポートネットワーク
設立目的	<p>野生動物の立場に立ち、彼らをサポートしたいと設立しました。傷病野生動物救護、その他、さまざまな原因で人間の手の中に入ってくる野生動物を通した自然環境の保全活動。多くの団体、個人のネットワークを活かし、解決に向けた取り組みをしています。神奈川野生動物救護連絡会（救護連）として、WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々とも連携した活動を実施。</p> <p>【設立年月日】1998年4月1日</p>
団体情報	<p>【代表者】葉山 久世</p> <p>【会員数】スタッフ3名。</p> <p>【ホームページ】http://umigome.ezpress.jp/ （救護連の活動を掲載）</p>
活動内容	<p>かながわ野生動物サポートネットワークとして 野生動物救護に関する相談、アドバイス。 野生動物対策の委員会委員（カワウ、外来生物）</p> <p>カナダガン調査グループのメンバーとして 富士山周辺の野生化カナダガンの野外からの除去（調査、駆除、普及啓発） 2014年は静岡県で捕獲除去を実施。残すところ静岡2羽、神奈川1羽となりました。2月に富士宮市で報告会開催。</p> <p>神奈川野生動物救護連絡会のメンバーとして 野鳥への釣り針・釣り糸被害の防止のための活動（調査：多摩川釣り針・釣り糸調査、普及啓発：ジャパンフィッシングショー、展示：さがみ自然フォーラム） 海ゴミによる野生動物への被害（展示・ワークショップ：ズーラシアにて海の動物 SOS!展 トビ被害（人から食べ物を取る）の防止（調査、防止のための普及啓発：金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェアなど）</p>
連絡先	<p>【担当者】葉山久世</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】pcv@nifty.com</p>

団体名称	町田グラウス山の会
設立目的	ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。 【設立年月日】1984年1月
団体情報	【代表者】寺山 勝治 【会員数】180名 【ホームページ】 http://machida-grouse.com/
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。 ・丹沢でのクリーンハイク（清掃登山）。2014年はクリーンピアに参加。 ・丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会。 ・早戸川上流、魚止めの森での植樹活動。 ・障害者との交流ハイキング。
連絡先	【担当者】安田 優
	【住 所】
	【電 話】
	【F A X】
	【メール】m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp

団体名称	NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク (KWN)
設立目的	<p>神奈川県が実施した丹沢大山総合調査に参加した魚類・底生生物ボランティアが中心となって設立した。</p> <p>神奈川県内の生物、とりわけ淡水魚や水生生物とそれを取り巻く環境の保護・保全・調査・研究・啓蒙活動を行うことを目的としている。</p> <p>【設立年月日】2006年10月18日</p>
団体情報	<p>【代表者】山崎 泰</p> <p>【会員数】14名</p> <p>【ホームページ】-</p>
活動内容	<p>4/ 明治大学黒川谷戸の観察会講師 (川崎市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中井町生物多様性調査会議参加 (中井町) <p>5/ 森の里東地区のホトケドジョウ生息状況調査実施 (厚木市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬入水辺の会調査講師 (平塚市) ・くずはの家：葛葉川の生物調査講師 (秦野市) ・蟹田 (がんだ) 沢メダカ調査参加 (三浦市) <p>7/ 真光寺川の生きもの観察会：鶴川第二小5年総合学習講師 (東京都町田市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民家敷地内湧水及び隣接河川のホトケドジョウ調査実施 (厚木市) ・田んぼの恵みを考える会観察会講師 (小田原市) <p>8/ 西丹沢フィールド学習会丹沢大山ボランティアネットワークの活動下見 (山北町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬入水辺の会調査講師 (平塚市) <p>9/ 町田市鶴川第二小5年総合学習：ゲストティーチャー (東京都町田市)</p> <p>9/28・ヤマメ産卵床造成・産卵場3地点 (山北町H沢) * KWN 主催活動</p> <p>造成産卵場の利用状況報告 調査日：11月23日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>繁殖期もほぼ終わりを迎え、11月23日に最後の利用状況調査を行いました。天気は快晴で暖かく、水温は10 (12:00)でした。今回は最終の調査であり、繁殖期も終わりであることから、生息域の全てを沢通しで遡行して産卵跡の発見に努めました。その結果、造成した産卵場の1と2は利用された形跡はありませんでしたが、3は利用され、産卵後の埋戻しのできる山(以下ではピークと呼びます)がはっきりと確認され</p>

活動内容	<p>ました。また、造成3を含めて3か所で新たな産卵跡が発見されました(このほかに産卵した可能性がある?場所が2か所ありました)。前回報告した中間地点の産卵場にはピークが1つ、また、堰堤下には3つのピークがあり、確認された産卵場は全部で5か所、産卵跡は7か所になります。産卵床1か所あたりの産卵数80卵、ふ化浮上率50%位とすると、来春には約300尾の仔魚が期待されます。利用報告はこれで終了しますが、付録として元気に泳ぐ仔魚の姿をお知らせしたいと思っています。年内に大きな増水が無いことを祈ります。</p> <p>(11月27日 山崎泰KWN理事長より、嬉しい知らせがありました。)</p> <p>10/18・神奈川県自然環境保全センター：池1の生き物調査と外来種駆除 *丹沢大山ボランティアネットワークでのKWN担当行事 (別紙活動報告及び丹沢大山ボランティアネットワーク瓦版90号参照) ・桂川・相模川連絡協議会：アメリカザリガニ拡大会議参加(海老名市)</p> <p>11/・荻野の谷戸の水生生物調査実施(厚木市) ・西丹沢フィールド学習会：沢の生き物講師(山北町)(別紙活動報告及び丹沢大山ボランティアネットワーク瓦版91号参照) ・小田原市の生命の星・地球博物館で行われた第47回日本魚類学会で、「厚木市・多々良沢源流におけるホトケドジョウの生態 - 」(住倉)と「神奈川県に生息するヤマメ <i>Oncorhynchus masou</i> の遺伝的構造と在来個体群の推定」(金子)を口頭発表 ・桂川・相模川連絡協議会：アメリカザリガニ拡大会議参加(海老名市)</p> <p>12/・「さがみ自然フォーラム」で、「厚木市のホトケドジョウの分布」(住倉)をポスター発表(厚木市)</p> <p>2/・さむかわ生き物調査発表会参加(寒川町) ・酒匂川水系の環境を考える会：「第14回 自然環境シンポジウム このままでいいのか!! 外来種問題 Part 」参加(小田原市)</p>
連絡先	<p>【担当者】</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】</p>

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 藤田哲男</p> <p>【会員数】 24名</p> <p>【ホームページ】 http://www.tes21.org</p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、自然や文化を体験するエコツアーを実施しています。26年度(27年1月末現在)は、27回のエコツアーを実施しました。例えば、こんなツアーが人気です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ山頂に立つだけでなく、丹沢の自然をじっくり体感しながら、自然にもやさしい「登山エコツアー」。檜洞丸、畦ヶ丸、犬越路などを案内しています。 ・全身に水を浴びて源流の沢をさかのぼるシャワークライミング(沢ツアー)。夏休みの土日限定で実施している、丹沢自然学校で最も人気のあるプログラムです。 ・丹沢でニホンジカの管理捕獲を実施しているワイルドライフレンジャーさんにご協力をいただき、管理捕獲を見学し、参加者とともにシカ問題を考える「ワイルドライフツアー」。 ・丹沢の地質や成り立ちを学びながら河原で砂金を探す、山麓散策でダイナミックに動く大地の証拠を見つけるなど、地学をテーマにしたエコツアー。 <p>これらのエコツアーは、原則としてガイド1名につき参加者5人以内というガイドレシオをまもり、説明するだけでなく参加者に体験して理解していただくよう、プログラムを工夫しています。</p> <p>また、都市部のレストランカフェで、お茶を飲みながらゲストのお話を聞く「丹沢よろずカフェ」を4回開催しました。体験プログラムには参加されないアウトドア初心者やご高齢の方も、気軽に参加していただくことが目的です。たとえば26年度こんなテーマで開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマビルをめぐる都市伝説を確かめよう ・丹沢登山歴60年、茂平治さんの丹沢むかし語り ・丹沢の野生動物 - 夜の森探検ミニツアーつき - <p>また、ボランティア活動として、西丹沢の登山道の植生の状況を追跡調査する定点撮影、ブナの実生の消長の継続調査、登山道の小規模補修なども行っています。特につつじ新道での定点撮影は4年間継続し、林床植生が退行したりブナの立ち枯れが進む様子が少しずつ把握できており、次年度以降に成果を発表していきたいと考えています。</p> <p>これらのほか、表丹沢まつりや大野山山開きへの参加、秦野市内中学校で丹沢の自然を紹介する講演などを行いました。またボラネットの交流会として、西丹沢</p>

フィールド学習会を犬越路で実施し、他団体の方にも私たちのエコツアーを体験していただきました。さらに、ボラネットが行う登山者意識調査として、西丹沢から登山する方を対象にアンケート調査を実施しました。12月に行われた丹沢自然再生活動報告会では、これらの活動内容とその成果について発表しました。これらを通じ、たくさんの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願って、私たちは活動しています。



シャワークライミング（沢ツアー）



河原で砂金探し



畦ヶ丸でのブナ実生追跡調査



自然再生活動報告会での発表

連絡先

【担当者】小林 昭五

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】kobayashi42477@nifty.com

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 【設立年月日】2006年10月2日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約130名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp
活動内容	<p>神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動をはじめ、東京農業大学ボランティア論講演(4月)、MARK is みなとみらい「傷つく野鳥たち」体験型イベント及び「傷ついた野生動物たち」パネル展示(5月)平成24年度野生動物救護ボランティア講習会開催(6月)、神奈川県自然環境保全センターにて企画展示「傷ついた野生動物達」パネル展示(7~9月)、放課後子ども教室開講(1回)、第3回夏休み子供体験教室開催(8月)、秦野市立図書館にてパネル展示「傷ついた野生動物たち」(8月)、伊勢原市立高部屋小学校にて環境教育(9月)、動物フェスティバル2014 in 西湘展示参加(10月)、秦野市民まつり展示参加(11月)、ジャパン・バード・フェスティバル2012展示参加(11月)、MARK is みなとみらいにて～みんなの庭で野鳥とつながる～「野鳥のための巣箱を作ろう」開催(11月)、羽勉強会「たかが羽、されど羽」(2月)、第4回春休み子ども体験教室「わくわく野鳥探検隊」開催(3月)、丹沢の緑を育むつどい助成事業「神奈川県自然環境保全センターでのリハビリ効果及び放野適期の検証」(通年)、「足環プロジェクト」(通年)、「秦野市立図書館衝突調査」(通年)など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
連絡先	【担当者】渡辺 優子 【住所】神奈川県秦野市戸川 1086-4 【電話】0463-75-1830 【FAX】 【メール】 wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp

団体名称	特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク
設立目的	この法人は、広く一般の市民に対して、神奈川県足柄上地域・西丹沢の地域間連携による共生型の市民ネットワーク社会の構築と地域にある豊富な資源を活用した都市と農山村間の交流や学び、体験などの多様なカリキュラムやプログラムを通じて、人と地域が共に学び、共に生き、共に発展（繁栄）していくための持続可能な仕組みづくりを目指し、地域や山里の歴史や自然、暮らしや文化などの叡智に対する認識と継承を行い、環境、教育、社会福祉、青少年の健全育成などの分野の向上に寄与することを目的とする。 【設立年月日】2011年6月7日
団体情報	【代表者】福島 実 【会員数】12名 【ホームページ】 http://ashitan.jimdo.com
活動内容	(1) 足柄キントロウ学校 ・グリーンウッドワーク講座「間伐材を伐って削って指輪づくり体験」 (平成26年度子どもゆめ基金支援事業) (2) 僕らの水源地の森林を守ろう！活動 ・森林ボランティア養成プログラムと都市住民との協働の森林づくり事業（緑の募金事業）/活動場所：山北町玄倉の水源地林 (3) あしがらミツバチプロジェクト（再始動）
連絡先	【担当者】福島 実 【住所】 【電話】080-6106-0974 【FAX】 【メール】 m.fukushima@sea.plala.or.jp

団体名称	湘南自然観察クラブ
設立目的	自然観察を通して環境保全をめざしたい 【設立年月日】2010年12月
団体情報	【代表者】田中 幸雄 【会員数】9名 【ホームページ】-
活動内容	月1回 県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。 自然保全センターにおいてミニ観察会の実施 
連絡先	【担当者】石山 浩恵 【住所】 【電話】045-301-9617 【FAX】同上 【メール】stone-mountain@jcom.home.ne.jp

団体名称	伊勢原の自然と環境を守る会
設立目的	伊勢原の自然と環境を破壊から守り、自然と共生する生活を模索することで、大量生産・大量消費社会を超えた、新たな持続可能な循環型社会を実現する。 【設立年月日】1993年7月1日
団体情報	【代表者】北山 宏之 【会員数】70名 【ホームページ】 http://www.geocities.jp/iseharakankyou/
活動内容	<p>活動の柱（地域の環境保全活動全般）</p> <p>1）オオタカの調査、保護 2）大気汚染調査 3）環境保全型農法の研究 4）第2東名、246バイパスへの対応、5）農作物などに含まれる放射線量の測定</p> <p>活動詳細</p> <p>1 守る会を中心に大気汚染に関わるエコネット視察研修会を企画。 エコネット(いせはら環境市民ネットワーク(伊勢原市内の環境団体の集まり))で、2014年3月27日、午前、川崎市の大気汚染についての取り組みを視察。池上新田公園で「大気環境改善土壌浄化モデル施設」と「光触媒インターロッキングブロック」を見学しました。午後、「川崎から公害をなくす会」事務所にて、事務局長・田辺秀雄氏の講演を聴きました。この団体は、40年前から活動を続けており、川崎公害裁判を経て、市内全域で大気中の二酸化窒素の自主測定、喘息患者数の分析、行政への対策の提案をしています。沿道環境の改善、トンネル排気口対策等、貴重な提案をお聞きすることができました。</p> <p>2 エコネットストップ温暖化展に協力 2014年11月15日(土)伊勢原協同病院駐車場にて。手作りの薪ストーブで玄米ご飯、焼き芋、びわ茶を作り、観客に提供しました。ロケットストーブ・メガネストーブ・もみがらストーブの実演もしました。ストップ温暖化展には2000人以上参加し盛況でした。</p> <p>3 エコネット講演会の企画協力・参加 2015年2月27日(金)19:00~伊勢原中央公民館にて、ベストセラー「里山資本主義」で知られる藻谷氏による伊勢原市市民協働事業としての講演会「時代の先端は里山に有り」の企画に協力。会場満員で盛り上がりました。</p>
連絡先	<p>【担当者】北山 宏之</p> <p>【住所】伊勢原市三ノ宮 1777 - 7</p> <p>【電話】0463-91-2334</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jp</p>

世話人会の活動報告

平成26年度世話人会の活動報告

1 世話人会の開催

(1) 第1回

実施日 平成26年6月4日(水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 5名
内 容 丹沢大山登山環境意識調査 夏休み親子自然探検隊
瓦版の発行

(2) 第2回

実施日 平成26年9月3日(水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 4名
内 容 西丹沢フィールド学習会 外来種駆除活動
丹沢大山登山環境意識調査

(3) 第3回

実施日 平成26年12月3日(水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 6名
内 容 世話人の改選 平成27年度事業計画
丹沢大山登山環境意識調査

(4) 第4回

実施日 平成26年3月5日(水)
場 所 あつぎパートナーセンター講義室
出席者 8名
内 容 世話人の改選 26年度総会の役割分担と事業計画 広報

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから、世話人代表が各委員会へ出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

日時 平成26年4月25日(金)
会場 自然環境保全センター
内容 平成25年度事業報告・決算報告について
平成26年度事業計画・予算(案)について
ボランティア団体活動助成事業に関する実施要領の改正について

(2) 丹沢大山自然再生委員会

・ 第 17 回普及啓発検討部会

日時 平成 26 年 4 月 15 日 (火)

会場 神奈川県厚木合同庁舎

内容 平成 26 年度県民事業専門部会事業計画案及び県民事業専門部会の体制について確認
県民事業専門部会で実施する平成 26 年度事業の進め方について
平成 26 年度県民事業専門部会スケジュールについて
その他

・ 第 19 回幹事会・第 18 回普及啓発検討部会

日時 平成 26 年 6 月 13 日 (金)

会場 神奈川県厚木合同庁舎

内容 平成 26 年度活動報告会について
平成 26 年度総会について
その他

・ 第 14 回丹沢大山自然再生委員会 (平成 26 年度総会)

日時 平成 26 年 6 月 20 日 (金)

会場 中小企業共済会館

内容 平成 25 年度事業実績・決算について
平成 26 年度事業計画・予算 (案) について
調査・研究助成金交付規程について
専門部会の報告・提案について
委員の活動報告

・ 第 19 回普及啓発検討部会

日時 平成 26 年 9 月 11 日 (木)

会場 神奈川県厚木合同庁舎

内容 作業部会からの報告について
今年度ワールドフェスタ・ヨコハマについて
今年度丹沢大山自然再生活動報告会について
その他

・ 第 20 回普及啓発検討部会

日時 平成 27 年 2 月 10 日 (火)

会場 プロミティ厚木

内容 今年度県民部会事業計画の振り返り

来年度県民部会事業計画の検討

その他

・ 第 14 回県民事業専門部会

日時 平成 27 年 3 月 17 日 (火)

会場 万国橋会議センター

内容 平成 26 年度普及啓発検討部会の活動内容について
平成 26 年度事業実績見込み・決算見込について
平成 27 年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について
平成 27 年度イベント活動等の継続、新規の共催・後援について
その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、5名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表1名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
" 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
" 電話
" ファックス
" E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	あり(名称:) なし
ホームページ	あり(アドレス:) なし
保全活動に関するキーワード	美化活動 植樹、森林の育成 調査(内容:) 普及啓発(内容:) その他(内容:)
活動の概要	主な活動地域()
自由記載欄	
連絡方法	郵送 電話 ファックス E-mail

- 注 1 該当する にチェックをしてください。
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
” 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323